

## 編集後記

2024年度会誌編集委員長を担当しております水田正弘です。これまで、ある学会の編集委員長を担当したことがありますが、本連合の会誌「横幹」につきましても十分な把握をしているとは言い難い状況でした。そこで過去の横幹を読むことから始めました。本誌は、多様な分野からの知見が掲載されており、本連合が掲げている知の統合が実現したものだと感じました。私が興味を持っているテーマにEBM（根拠に基づく医療）があります。根拠＝エビデンスには、レベルがあり、最も信頼性が高いのがメタ分析による結果であるといわれています。これは、多くの研究成果を統合的に解析して得られた結果です。本誌も最も高いレベルの

議論を提示できる場であると思います。著者の専門分野における表現方法、常識（いわゆるコンセンサス）などが異なる中、多様な書き方の記事が集まっています。これこそ、多くの学会が集まったことのメリットだと思います。

本号は、前委員長の伊藤誠先生が大部分プランニングをされたものです。それを継続することで、ようやく完成いたしました。巻頭言に続き、総会特別講演の内容、原著論文2編、日本信頼性学会様による会員学会紹介や研究会からの活動報告、書評と、充実した内容となりました。ご寄稿いただきました著者の皆様、原稿の校閲に携わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

2024年度会誌編集委員長 水田正弘

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### □ 2024年度役員

|     |                   |                |  |
|-----|-------------------|----------------|--|
| 会長  | 椿 広計（統計数理研究所）     |                |  |
| 副会長 | 藤田 政之（金沢工業大学）     | 山上 伸（日本OR学会）   |  |
| 理事  | 青山 和浩（東京大学）       | 伊藤 敦（京都府立大学）   |  |
|     | 伊藤 誠（筑波大学）        | 猪原 健弘（東京科学大学）  |  |
|     | 大江 秋津（東京理科大学）     | 下野 僚子（早稲田大学）   |  |
|     | 鷹羽 浄嗣（立命館大学）      | 田中 敏幸（慶應義塾大学）  |  |
|     | 林 勲（関西大学）         | 水田 正弘（統計数理研究所） |  |
|     | 稲見 昌彦（東京大学）       | 歌代 豊（明治大学）     |  |
|     | 川中 孝章（東京大学）       | 木村 光宏（法政大学）    |  |
|     | 佐藤 一弘（東洋製罐グループHD） | 長沢 伸也（早稲田大学）   |  |
|     | 林 裕子（山口大学）        | 松野 文俊（大阪工業大学）  |  |
|     | 丸山 浩平（早稲田大学）      | 山下 善之（東京農工大学）  |  |
| 監事  | 川崎 茂（滋賀大学）        | 藤井 享（豊橋技術科学大学） |  |

#### □ 2024年度会誌編集委員会

|      |                |                  |  |
|------|----------------|------------------|--|
| 委員長  | 水田 正弘（統計数理研究所） |                  |  |
| 副委員長 | 山下 善之（東京農工大学）  | 伊藤 誠（筑波大学）       |  |
| 委員   | 鷹羽 浄嗣（立命館大学）   | 青柳 秀紀（筑波大学）      |  |
|      | 穴太 克則（芝浦工業大学）  | 岩澤誠一郎（名古屋商科大学）   |  |
|      | 大塚 敏之（京都大学）    | 小平和一郎（アーネスト育成財団） |  |
|      | 金子 勝一（山梨学院大学）  | 倉橋 節也（筑波大学）      |  |
|      | 櫻井成一郎（明治学院大学）  | 玉置 久（神戸大学）       |  |
|      | 椿 美智子（東京理科大学）  | 出口光一郎（東北大学）      |  |
|      | 三宅 美博（東京科学大学）  | 横山 清子（名古屋市立大学）   |  |

## ■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的に行っている「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

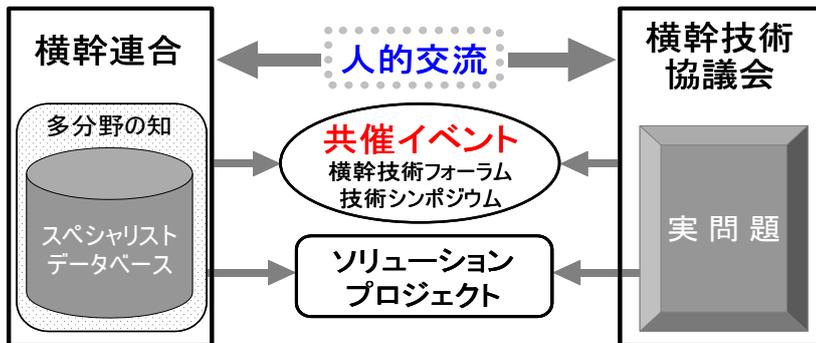
＜過去のフォーラム実績＞

- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成  
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み－複数システムの連携による価値構築－
- 第47回 4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第48回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化  
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第49回 ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命（IoT/インダストリアル4.0）の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは
- 第50回 未来洞察（Foresight）活動の取り組みの現状とその活用  
－科学技術融合時代の先取りを目指して－
- 第51回 ヘルスケア・サイエンスの取り組みと現状  
－医療に頼らない健康管理のためのヘルスケア－
- 第52回 IoT・ビッグデータ・AI時代の企業間連携とプラットフォーム  
－センシングデータ利活用の可能性と課題－
- 第53回 Society 5.0時代のヘルスケア（その1）
- 第54回 Society 5.0時代のヘルスケア（その2）
- 第55回 Society 5.0が実現するデータ駆動型まちづくり－展望と課題－
- 第56回 オープンイノベーション活動『豊洲の港から』
- 第57回 先端医療（医用生体工学・行動神経経済学・医療経営学）研究の現状とその活用による北海道の地域・医療イノベーション
- 第58回 地域医療の情報化における諸問題とその克服に向けた課題
- 第59回 スタートアップの潮流と今後の可能性
- 第60回 横幹技術シーズの社会実装化に向けた産学連携活動の新たな展開  
＝ビジネスの視点から捉えた産学連携マッチングの現状と課題＝

※過去のフォーラムプログラムはHP (<https://www.trasti.jp/about.html#forum>) でご覧いただけます

## ■企業の課題解決支援（プロジェクト活動）

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

(株)日立製作所名誉顧問  
元 内閣府総合科学技術協議会協議員

横断型基幹科学技術推進協議会（略称：横幹技術協議会）は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

（設立：2004年5月）

## ■参加会員（2024年10月現在）

### 【中核会員】

(株)日立製作所

### 【インキュベーション会員】

(株)日立ソリューションズ東日本

(株)環境テクノ

# 横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX: 03-6675-4076 URL: <https://www.trasti.jp/>